

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 28 年度第 2 回 議事録

担当：峯岸邦夫

日時	平成 28 年 7 月 5 日 (火) 14:00-16:20					場所	地盤工学会会議室	
部長	松本 樹典	○	理事	仙頭 紀明	○	幹事	峯岸 邦夫	○
部員	浅田 素之	○	部員	伊貝 聡司	×	部員	海野 寿康	○
★部員	大向 直樹	○	★部員	小早川博亮	○	★部員	肴倉 宏史	○
部員	佐藤 毅	○	部員	高柳 剛	×	部員	浜田 英治	○
部員	平井 貴雄	×	部員	藤原 照幸	×	部員	宗像 保男	×
オブザーバー	中川 直	×	H27 部長	大河原正文	×	H27 部員	長田 昌彦	×
H27 部員	塚本 良道	×				事務局	齋藤・長尾	○

★：H28 年度新任 ○：出席予定 ☆：出席（電子会議） ◎：代理出席 ×：欠席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-28.2.0	平成 28 年度 第 1 回基準部会議事録案
資料-28.2.1	平成 28 年度予算執行状況、書籍売上・在庫数
資料-28.2.2	基準部刊行物 複写権利追加委託の依頼（学術著作権協会）、刊行物リスト、契約書
資料-28.2.3	室内試験規格・基準委員会・WG 名簿（2016 年度）
資料-28.2.4	規格・基準の見直し方針
資料-28.2.5	技能試験実施委員会名簿（2016 年度）
資料-28.2.6	理事会（H28/6/8, 6/15）報告資料
資料-28.2.7	寄贈規程（青本の寄贈）
資料-28.2.8	平成 27 年度経産省受託事業の実施報告書概要版・支出報告、平成 28 年度経産省受託事業の実施計画書
資料-28.2.9	ISO 会議派遣
資料-28.2.10	第一回室内試験規格・基準委員会議事録
資料-28.2.11	会員からの質問（地盤調査・規格基準委員会）
資料-28.2.12	公示基準案への意見（地下水面から上の地盤を対象とした透水試験方法）
資料-28.2.13	2016 年度技能試験参加申込状況
資料-28.2.14	技能試験実施委員会（幹事会）6 月 17 日開催議事録
資料-28.2.15	基準英訳の進捗状況
資料-28.2.16	DS1 地盤関連 ISO の動きとアジアにおける土壌汚染

審議事項

1. 前回議事録の確認

(資料-28.2.0, pp.5-10)

峯岸幹事より、資料に基づき前回議事録(案)について説明があり、審議事項2.(3)①のタイトル「平成28基準部員・・・」を「平成28年度基準部員・・・」、同(5)2行目の「JIS L 20221」を「JIS L 2021」に修正することで承認された。

2. 全体関係

(1) 新任理事・部員の紹介

松本新基準部長より、仙頭基準部担当理事および大向部員、小早川部員の紹介が行われた。

(2) 自己紹介

出席者による自己紹介(所属・担当委員会等)が行われた。

(3) 部会・委員会の紹介

松本基準部長より、基準部の活動内容について紹介が行われた。

(4) 予算執行状況、書籍売上・在庫数

(資料-28.2.1, pp.11-13)

齋藤事務局員より、資料に基づき6月末までの基準部予算執行状況、丸善および学会事務局で取り扱っている書籍の販売実績について説明があり、確認された。

(5) その他

・基準部刊行物 複写権利追加委託の依頼(学術著作権協会)

(資料-28.2.2, pp.14-18)

齋藤事務局員より、資料に基づき基準部刊行物(地盤工学用語辞典および地盤材料試験方法と解説、地盤調査の方法と解説)の複写権利追加委託について説明があり、審議の結果、承認することになった。なお、複写権利による学会収入は例年数万~10万円程度とのことであった。

3. 委員等の異動

(1) 室内試験規格・基準委員会

理事会報告委員の追加(メール審議済み・名簿太枠部分)

(資料-28.2.3, pp.19-29)

理事会報告赤本改訂のための規格・基準見直し方針

(資料-28.2.4, pp.30-31)

仙頭理事より、資料に基づき「赤本改訂のための規格・基準の見直し方針」について説明があり、審議の結果、承認された。なお、資料中の6.1、6.2、6.3は、既存の基準から一部分を取り出して、基準にすることから、新規の基準化とは異なる。よって基準化検討のプロセスを省略し、基準化の作業は新たな組織を設けずに担当WGで実施することが追加説明された。また、規格・基準改訂に伴い、その英訳版の改訂も実施する必要がある。ただしその作業を赤本改訂時にWGが担当すると負担が掛かるので、どのような方針で英訳化を行うか早めに検討をした方が良いのと意見があった。

(2) 地盤調査規格・基準委員会

メール審議済み(末政新委員長)

理事会報告(3) ISO 国内委員会

メール審議済み

TC182 国内専門委員会

退任: 寺師 昌明

退任: 高坂 信章(清水建設(株) 土木事業本部)

退任: 勝間 秀樹(応用地質(株))

退任: 後藤 聡(山梨大学大学院)

退任: 本城 勇介(岐阜大学・名誉教授)

TC221 国内専門委員会

退任: 赤井 智幸(大阪府立産業技術総合研究所)

(4) 地盤設計・施工基準検討委員会

特になし

(5) 表記法検討委員会

特になし

(6) 技能試験実施委員会

委員の交代 浜田英治委員→若杉 護委員(基礎地盤コンサルタンツ)

(資料-28.2.5, p.32)

齋藤事務局員より、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

(7) 基準英訳化に関する実行委員会

特になし

(8) 部員の異動

特になし

4. ISO 国内委員会 関係

特になし

5. 地盤工学表記法委員会 関係

特になし

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

特になし

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

特になし

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

特になし

9. 技能試験実施委員会 関係

特になし

10. 基準英訳化に関する実行委員会 関係

特になし

11. 基準部所管刊行物

特になし

12. その他

特になし

報告事項

1. 理事会 (H28/6/8, 6/15) 開催報告

(資料-28.2.6, pp.33-39)

松本基準部長より、資料に基づき、基準部関連事項について報告がなされた。

2. 全体関係

理事会報告・地盤調査と方法と解説の寄贈

(資料-28.2.7, pp. 40-41)

齋藤事務局より、資料に基づき報告がなされた。なお、松本基準部長より、今後も同様の対応をとりたいとの発言があった。

- ・執筆者のうち1名から寄贈依頼があり、部長判断で1部寄贈した。
- ・執筆料は受け取り不可の方。
- ・寄贈規程では青本は高価な単行本として半額で販売することになっている。
- ・会員特価 18,900円 → 半額 9,450円 執筆料 15,086円 (税引き前)
- ・資料 (寄贈規程)

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① 平成28年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

TC190SC3WG10 運営 WG

平成27年度経産省受託事業の報告と平成28年度の実施計画

(資料-28.2.8, pp. 42-59)

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・土木学会	0万円				
・三菱総合研究所 (回答作成)	0万円				
・三菱総合研究所 (旧重点TC旅費)	0万円				
・日本建設業連合会	50万円				
・ISO/TC190 関係 (研究委託)	0万円				
・三菱総合研究所 (国際標準開発事業)		955万円	○	3月	
小計	50万円	955万円			
合計	1,005万円				

浅田部員より、資料および上記表に基づき、活動状況および資金援助について報告がなされ、上記表中において三菱総研の「回答作成」と「旧重点 TC 旅費」の項目は削除することとした。

理事会報告② 国際会議派遣

(資料-28.2.9, p.60)

浅田部員より、資料に基づき報告がなされた。

③ 地盤工学研究発表会 DS 開催

(資料-28.2.16, p.80)

浅田部員より、資料に基づき、9月13日に開催されるDSについて、報告がなされた。なお、資料中の「佐藤毅委員会幹事」を「佐藤毅委員会委員」に修正するとのことであった。

(2) 地盤工学表記法委員会

特になし

(3) 室内試験規格・基準委員会

第1回室内試験規格・基準委員会報告

(資料-28.2.10, pp. 61-64)

大向部員より、資料に基づき報告がなされ、7. 7.1 1)の「原則として、センチ、デシなどのSI接頭辞は使用しない方針」については同委員会の議事録(案)作成後に方針が変更になり、JIS Z 8203に基づき基本的に使用を認めることになったことが報告された(資料28.2.4の赤本改訂方針にも記載あり)。また、日本規格協会公募制度への応募については、平成28年12月に改訂作業中の規格基準を一括で申請することを考えているとの説明もあった。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

① 会員からの質問

(資料-28.2.11, pp.65-68)

浜田部員より、資料に基づき報告がなされた。

② 公示基準案への意見(地下水面から上の地盤を対象とした透水試験方法)

(資料-28.2.12, pp.69-71)

浜田部員より、資料に基づき報告がなされ、素案に対する疑問についてはWGで対応して、資料中の囲みの部分については、学会で決めた手順によって進めているので特に対応の必要は無いとのことであった。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特になし

(6) 技能試験実施委員会

① 平成28年度技能試験 参加申込状況

(資料-28.2.13, p.72)

欠席の藤原部員の代理で峯岸より、資料に基づき報告がなされた。なお、今年度の傾向として大学の参加少ないとのことであった。

理事会報告② 平成27年度技能試験報告会開催報告

2016年5月30日(月)JGS会館で実施、16機関19名参加。

峯岸より、技能試験報告会の開催報告がなされた。

③ 技能試験実施委員会(幹事会)報告

(資料-28.2.14, pp.73-77)

峯岸より、資料に基づき報告がなされた。

(7) 基準英訳化に関する実行委員会

① 基準英訳本の進捗状況

(資料-28.2.15, pp.78-79)

仙頭理事(室内試験)および浜田部員(地盤調査)より、資料に基づき基準英訳化の進捗状況について報告がなされた。7月末に校了して、8月末に出版予定であったが、スケジュールが遅れているとのことであった。

また、資金的にも厳しいため、新たな寄附金獲得の方策を検討するとのことであった(佐藤部員)。

(8) 英文HP

特になし

4. 日本工業標準調査会 土木技術専門委員会

●H28年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名	長	委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	松本 樹典	4/26, 7/5,
ISO 国内委員会	今村 聡	

<ul style="list-style-type: none"> ・TC182 国内専門委員会 ・TC190 国内専門委員会 ・ ・ TC190/SC3/WG10 対応 WG (受託) ・TC221 国内専門委員会 	木幡 行宏 川端 淳一 坂井 宏行 椋木 俊文	4/11, 4/15, 5/10, 5/13, 6/17
室内試験規格・基準委員会	豊田 浩史	4/15, 6/17
<ul style="list-style-type: none"> ・WG1 物理特性 ・WG2 化学特性 ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性 ・WG5 安定化・締固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG7 特殊土の試験 ・WG8 赤本改訂版の総説執筆 ・WG9 低透水性土質材料の透水試験方法基準化 ・WG10 「土質試験 基本と手引き」改訂 	杉井 俊夫 肴倉 宏史 渡部 要一 澁谷 啓 横田 聖哉 木幡 行宏 風間 基樹 豊田 浩史 西垣 誠 大島 昭彦	5/12, 6/22 5/30 6/16, 7/8, 7/15
地盤調査規格・基準委員会	末政 直晃	
<ul style="list-style-type: none"> ・WG1 物理探査・検層 ・WG2 ボーリング・サンプリング ・WG3 地下水 ・WG4 サウンディング ・WG5 载荷試験 ・WG6 現場密度試験 ・WG7 現地計測 ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング ・WG9 地盤調査の計画, 資料調査・地質調査 ・WG10 地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法基準化WG ・WG11 動的コーン貫入試験方法JIS規格化WG ・WG13 水圧破砕による初期地圧測定法の基準化検討WG 	斎藤 秀樹 正垣 孝晴 進士 喜英 大島 昭彦 大島 昭彦 三嶋 信雄 上野 将司 江種 伸之 長田 昌彦 西垣 誠 大島 昭彦 伊藤 高敏	7/5, 6/2
地盤設計・施工基準委員会	木幡 行宏	
<ul style="list-style-type: none"> ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平载荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土 	本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	
地盤工学表記法委員会	大島 昭彦	
技能試験実施委員会	日置 和昭	
基準英訳化に関する実行委員会	竹下 祐二	4/26,

峯岸より、上表に基づき、基準部関連の委員会、WGの開催状況について報告がなされた。

5. その他

(1) 理事会 (平成28年7月28日 (木)) への審議事項・報告事項

本議事録 (案) 中の朱書き部分

(2) 総務部会 (平成28年7月8日 (金) 開催予定) への提案事項

今回はなし

(3) 次回以降の部会開催日

・平成28年度第3回: 第1案 平成28年9月2日 (金) 14:00～

第2案 平成28年9月 日 () 14:00～

※ 基準英訳化実行委員会が開催される時は、開始時刻が変更になることがある。

(対応理事会 H28.9.29 or 10.28)

★ 平成28年度 理事会 開催日程 (予定含む)

- ① 4月20日(水) ※書面審議
- ② 5月17日(火)
- ★ 6月8日(水) 総会/理事会
- ③ 6月15日(水) ※書面審議
- ④ 7月28日(木)
- ⑤ 9月29日(木)
- ⑥ 10月28日(金) ※書面審議
- ⑦ 11月25日(金)
- ⑧ 12月22日(木) ※書面審議
- ⑨ 1月27日(金)
- ⑩ 2月24日(金) ※書面審議
- ⑪ 3月17日(火)

-
- ⑫ 4月21日(金) ※書面審議
 - ⑬ 5月19日(金)
 - ★ 6月9日(金) 総会/理事会

以上